



Wi2、Wi-Fi サービスでソフトバンクモバイルと提携

2010年7月7日

株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス（本社：東京都港区、代表取締役社長：高津智仁、以下Wi2）は、ソフトバンクモバイル株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長兼CEO：孫正義、以下ソフトバンクモバイル）とWi-Fi サービス（*1）で提携いたしました。

Wi2は、自社エリア及びローミングパートナーであるBBモバイルポイントやライブドアのエリアを含め、合計約7600か所以上で利用可能なWi-Fi サービス「Wi2 300」（*2）を展開していますが、このたびの提携により、丸の内、横浜、東工大キャンパスや成田空港・羽田空港を発着するリムジンバスなどWi2の自社エリアにおいて、ソフトバンクモバイルが提供する「ソフトバンクWi-Fi スポット」のユーザが、2010年7月7日よりWi-Fi サービスを利用することができます。これにより、iPhone 及び iPad、「ケータイWi-Fi」対応機種がより快適に利用いただけます。

Wi-Fi は、iPhoneをはじめとするスマートフォンやWi-Fi を搭載する携帯電話の普及により、そのニーズは急拡大しています。Wi2は、多様なパートナーと連携し、幅広いユーザ層があらゆるWi-Fi 搭載デバイスでWi-Fi サービスを利用可能な環境を展開していきます。このたびのソフトバンクモバイルとの提携はその一環であり、今後もWi2のWi-Fi サービス「Wi2 300」ユーザ獲得を進めるとともに、Wi-Fi サービス事業者との連携によりWi-Fi サービス市場の拡大を図っていきます。

Wi2は、ワイヤレス・プラットフォームの普及を通じて、ユーザの新たな利用シーンを創出していくとともに、ユーザが楽しめるコンテンツについてもラインアップを拡充します。そして、人々のライフスタイルにWi-Fi などの無線ブロードバンドがさらに広く普及することに注力して参ります。

*1 Wi-Fi

IEEE 802.11 シリーズの標準規格で、Wi-Fi 技術を元に作られたネットワークを一般的に無線LANといいます。2.4GHz 帯や5GHz 帯など免許の不要な周波数帯を利用し、最高伝送距離100m、最高伝送速度は300Mbps(11n)もしくは54Mbps(11a/g)の近距離無線技術。ノートPCから始まり、iPhone などの携帯電話や、ニンテンドーDS、PSP®、iPod® touch などのゲーム機など多様なモバイル端末に普及しています。

*2 Wi2 300

「Wi2 300」は、Wi2 が提供する無線ブロードバンド・インターネット接続サービスです。ノートPC、iPhone などのWi-Fi（無線LAN）対応デバイスで簡単接続が可能です。丸の内エリア（丸ビル、新丸ビル、丸の内オアゾの3ビル）、横浜ベイエリア、成田空港路線、羽田空港路線のリムジンバス、東工大キャンパスなどの自社エリアに加え、ローミングエリア（BBモバイルポイント、ライブドア・ワイヤレス）など全国約7600か所以上のWi-Fi スポットで利用できます。